SDGs と環境教育の輪を。
プラスチックとの持続可能な関係構築に向け、学生たちとの本気の取組

京都大学大学院地球環境学堂
浅利美鈴
mezase530@gmail.com

ごみ研究

家庭ごみ（40年間続く調査）

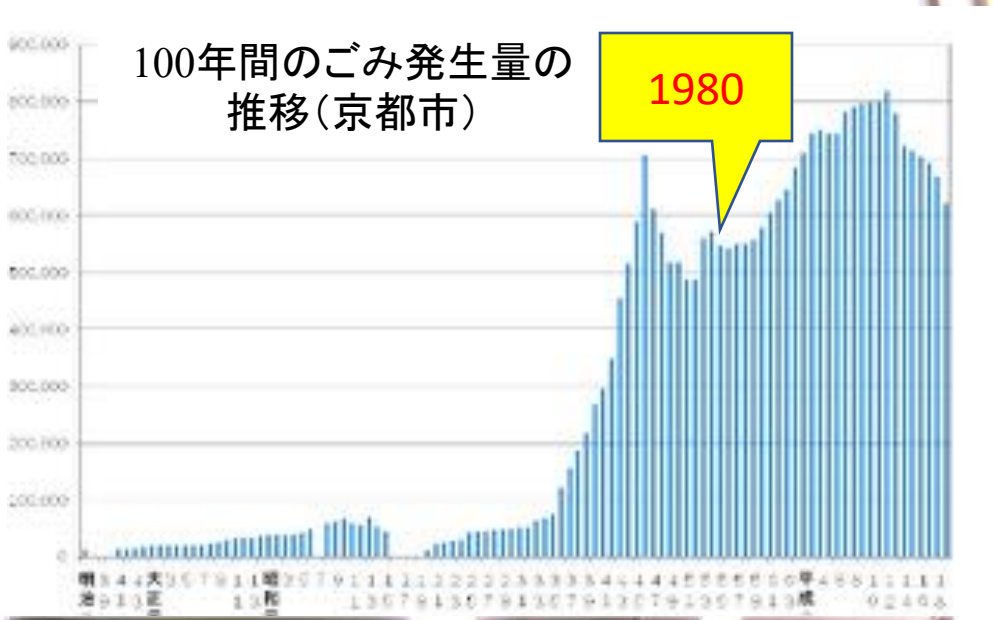
食品ロス

災害廃棄物

プラスチックごみ、世界のごみ

家庭ごみ細組成調査

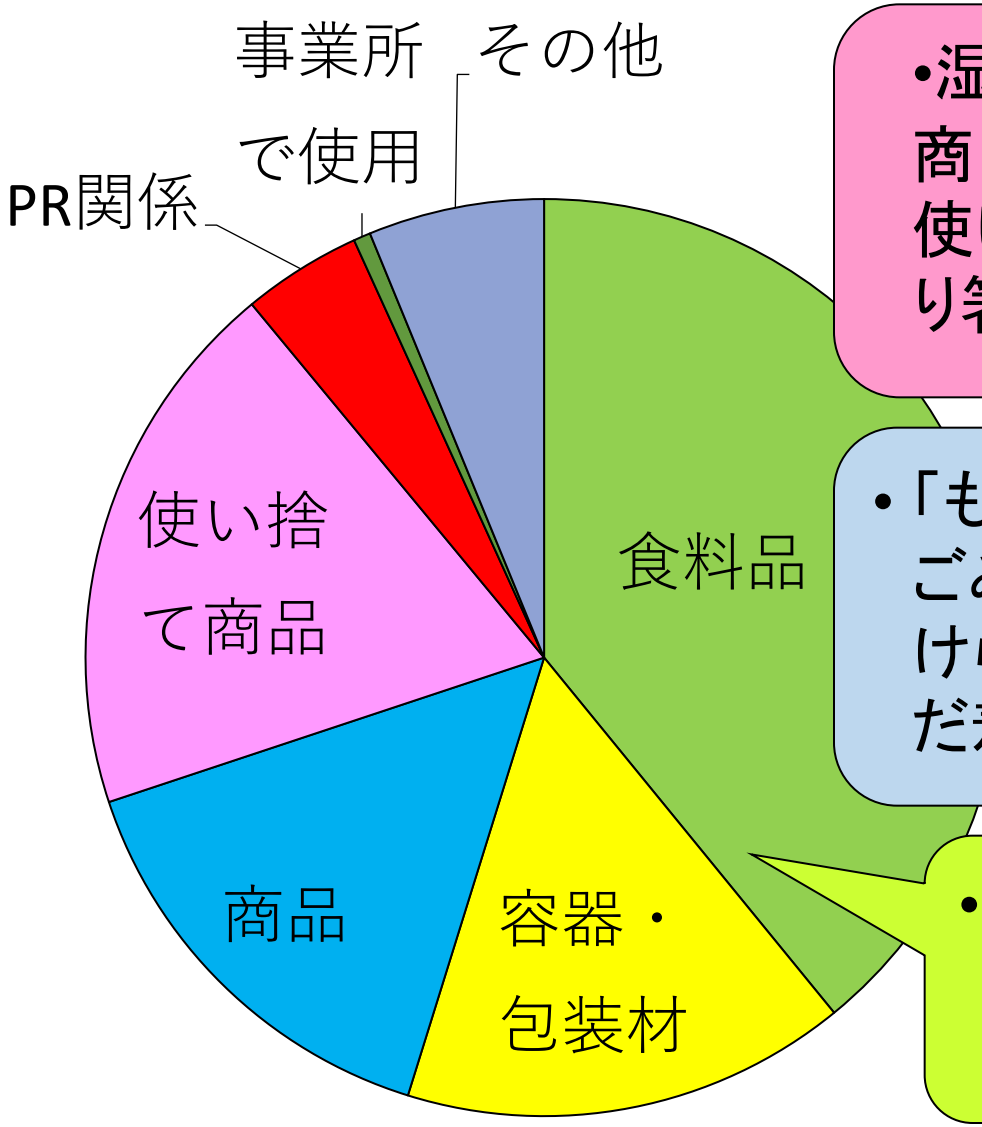
京都市と京都大学が1980年から開始



約４００種類に分類

⇒ごみ減量のためにはどうすれば良いか？
社会はどう変化してきたか？

「家庭ごみ（燃やせるごみ）」の重量内訳



- 湿重量の約20%が「使い捨て商品」・・・ティッシュや紙ふきん、使い捨てライター、ストロー、割り箸、カイロ、紙おむつなど

- 「もったいないごみ」も・・・食品ごみの中でも、まったく手がつけられていない食べ物、まだまだ着られる服など

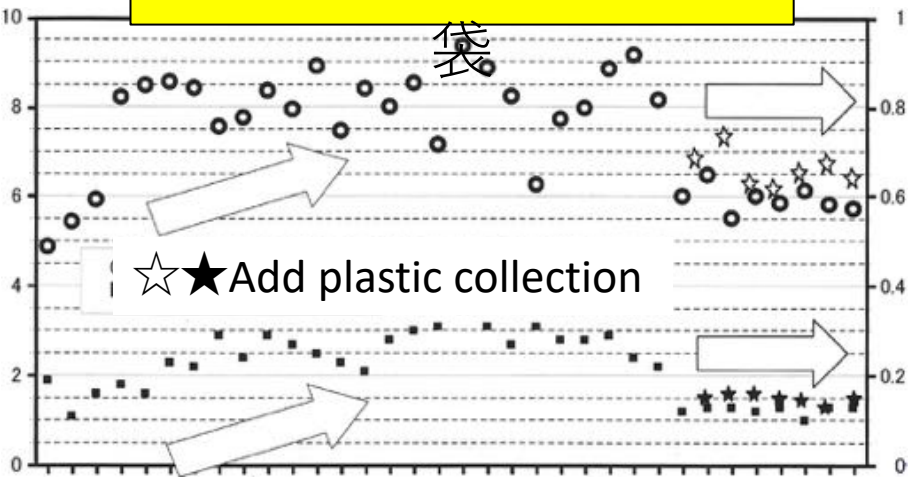
- 家庭ごみでは、「食料品」や「紙」などのバイオマスが、残された課題といえる

（出典）京都市環境局：家庭ごみ細組成調査報告書（平成26年度案）

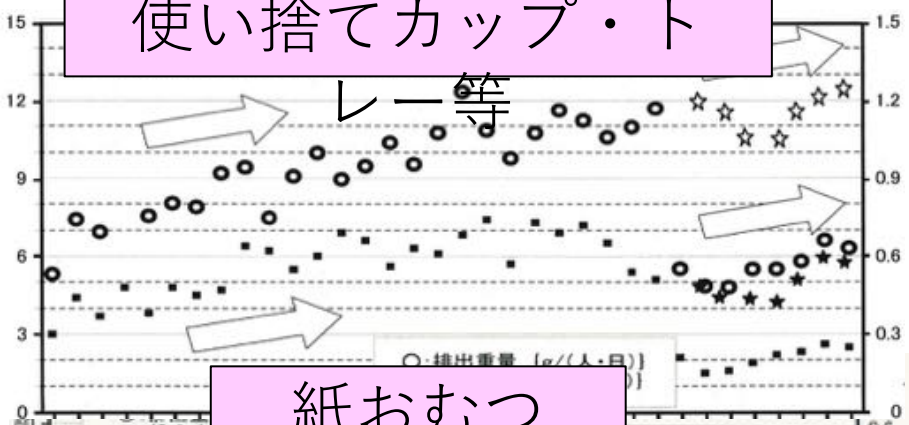
高齢化＋α

使い捨て商品等の排出傾向

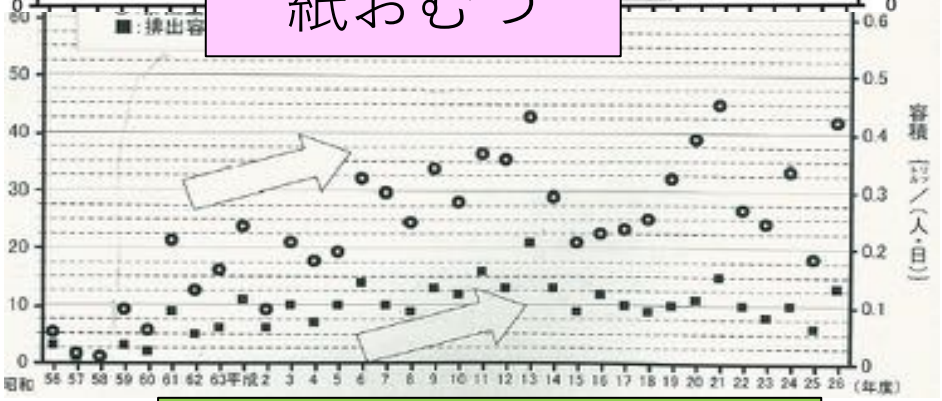
プラスチック　レジ袋



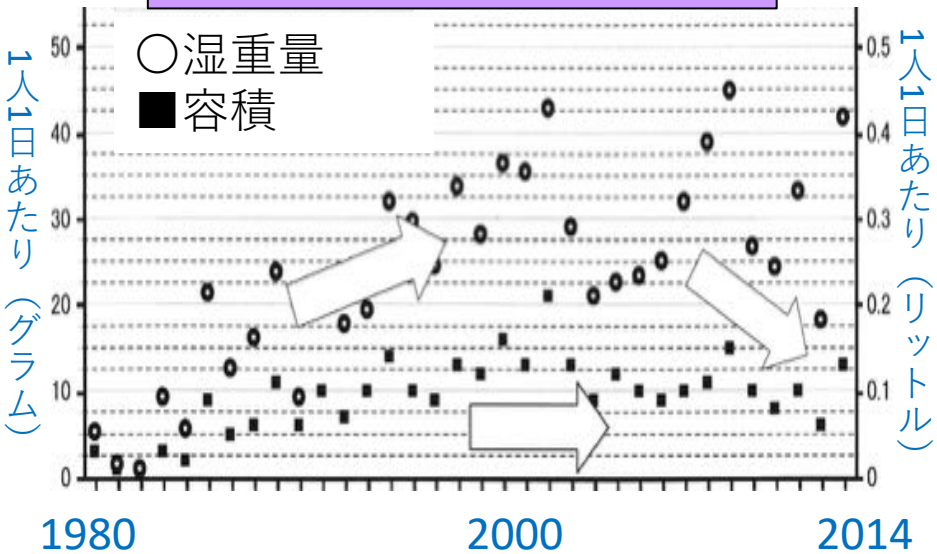
使い捨てカップ・トレー等



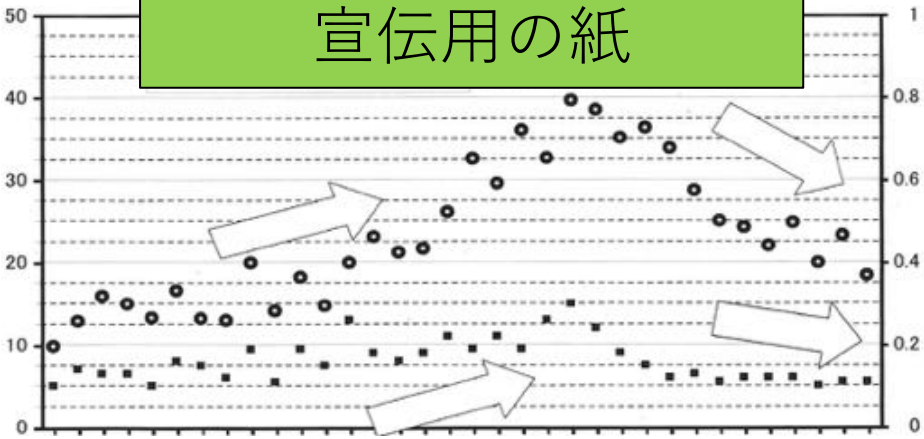
紙おむつ



手つかず食品

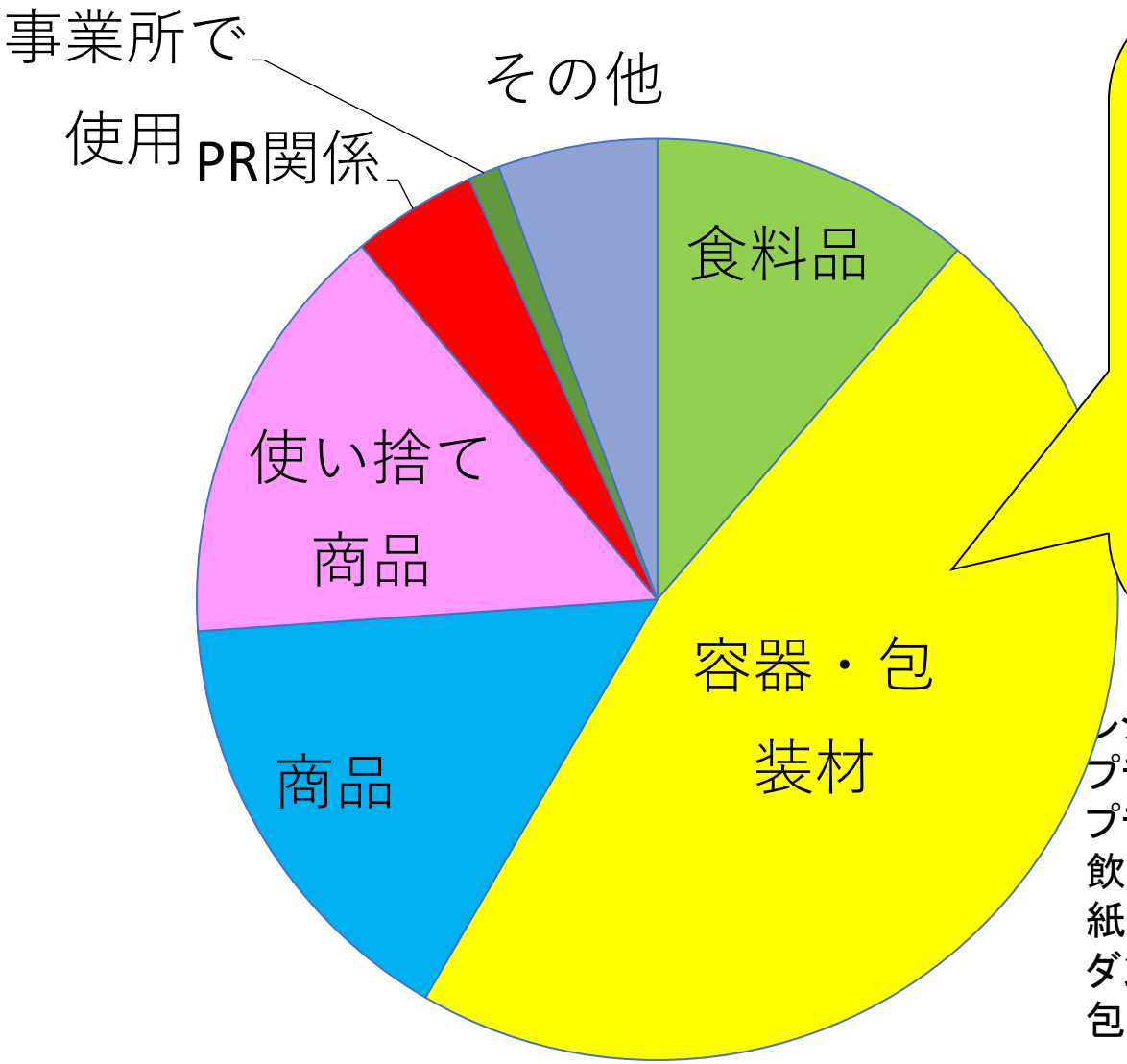


宣伝用の紙



容器も重要

「家庭ごみ（燃やせるごみ）」の容積内訳



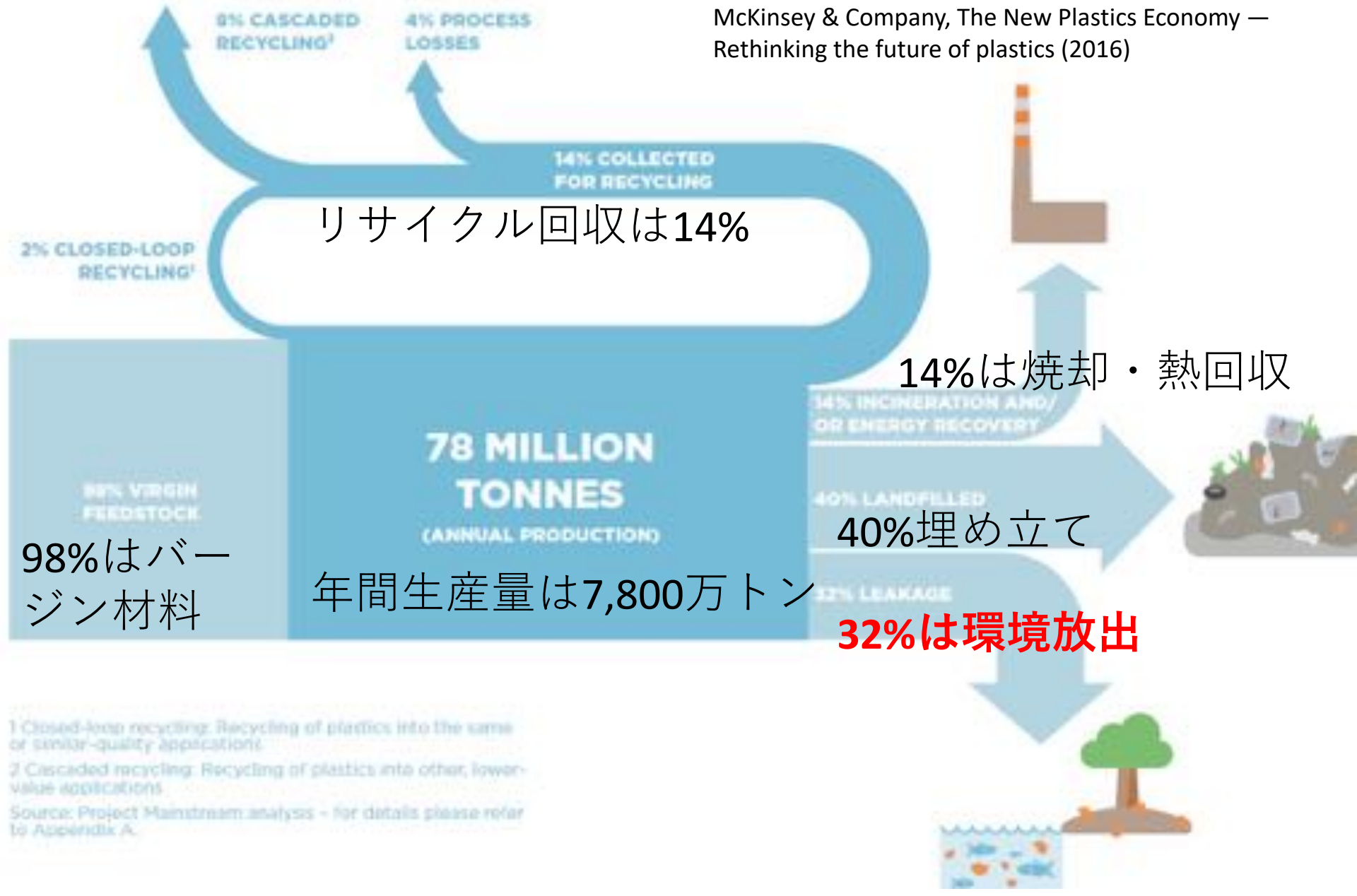
レジ袋
プラスチック製の袋
プラスチック製のトレイ類
飲料用ペットボトル
紙パック
ダンボール箱
包装紙など

- 容積の約50%は「容器包装材」
- 特に、レジ袋は、いまだに、ごみ全体の数%を占める

（出典）京都市環境局：家庭ごみ細組成調査報告書（平成26年度案）

世界のプラスチック容器包装フロー（2013年）

World Economic Forum, Ellen MacArthur Foundation and McKinsey & Company, The New Plastics Economy — Rethinking the future of plastics (2016)



リサイクル回収は14%

14%は焼却・熱回収

40%埋め立て

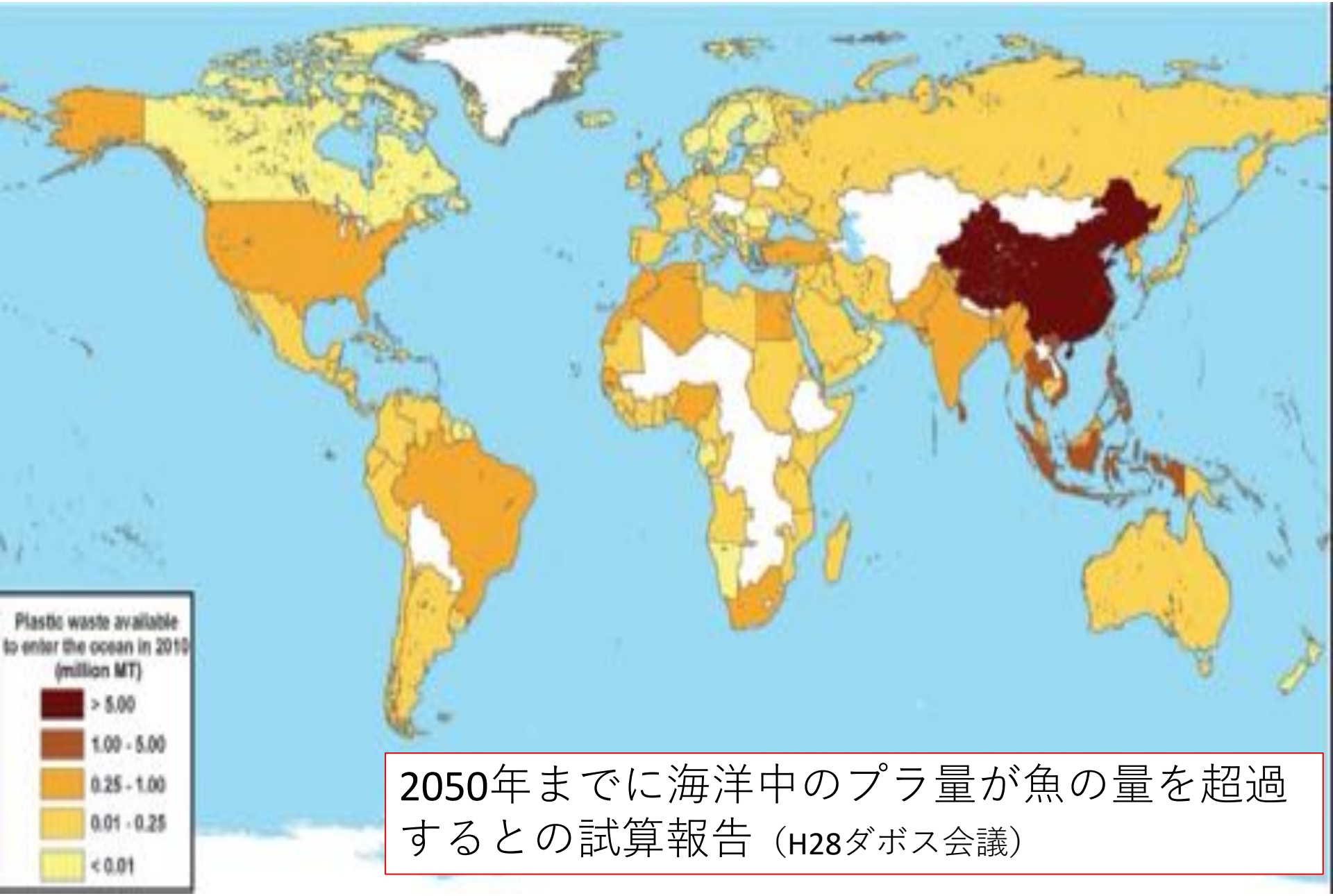
98%はバージン材料

年間生産量は7,800万トン

32%は環境放出

1990年から1993年の間に描かれたもの！

世界の海ごみ発生推計量　Jambeckら (2017)



2050年までに海洋中のプラ量が魚の量を超過するとの試算報告（H28ダボス会議）

世界の動き

Figure 3.3. Estimated number of new regulations on single-use plastics entering into force at the national level worldwide

新規のシングルユースプラ規制（国レベル）

UNEnv, Single-use plastic (2018)

Number of regulations on plastic bags, Styrofoam and other plastic utensils that entered into force

Source: *Data independently collected by authors*

- 世界中で、脱プラ＋循環へ

〇レジ袋↓

〇PETボトル

〇容器包装

〇繊維

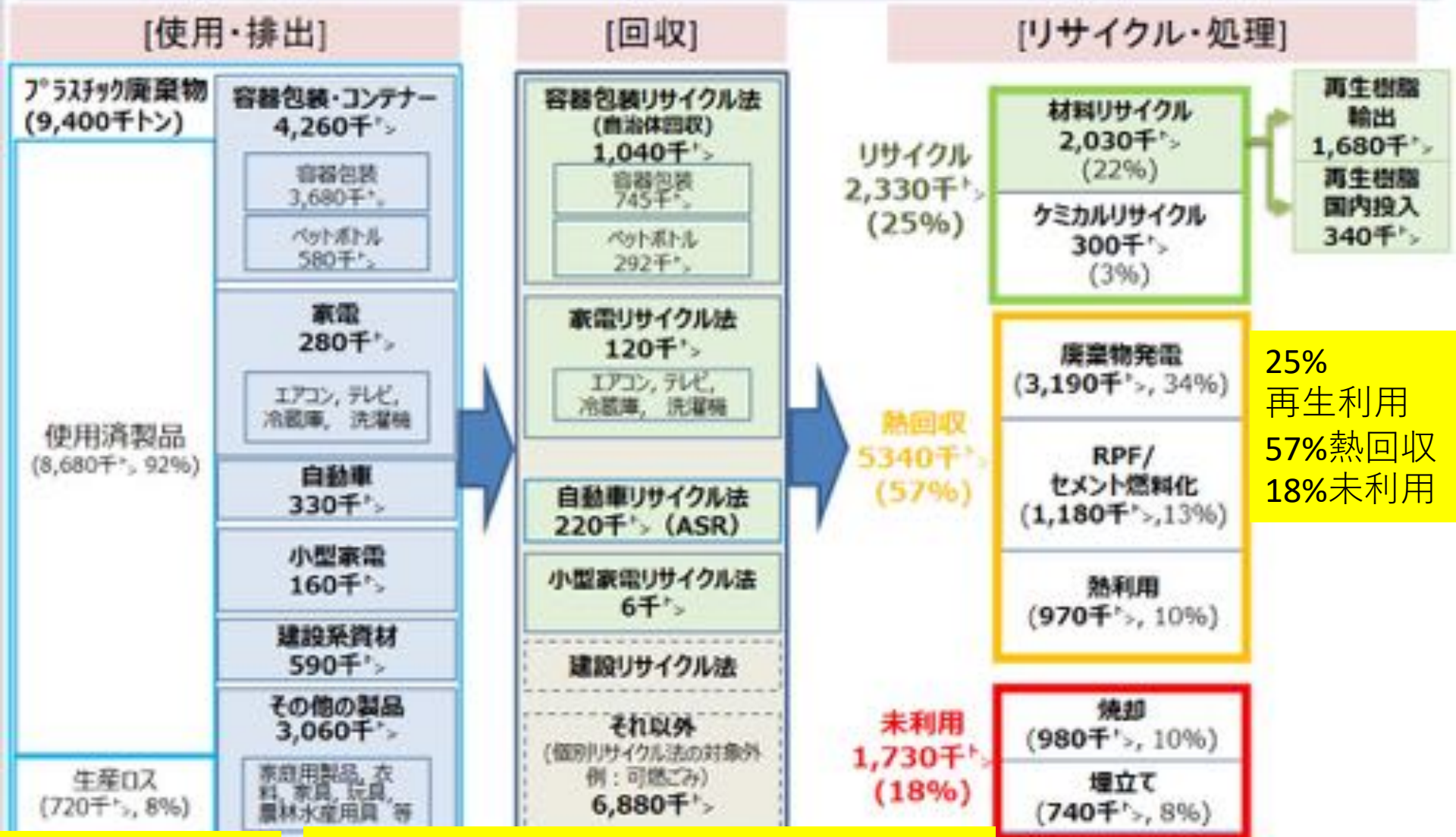
〇タイヤ　など

- 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン（2050年汚染ゼロへ）

レジ袋の規制

日本のプラスチックフロー（2013年）

- プラスチック廃棄物 = 9.4百万トン/年（全廃棄物（431百万トン）の2%）
- リサイクル率= 24.8%, リサイクル+熱回収率 = 81.6%



プラスチック資源循環戦略（概要）

Plastics Smart

令和元年5月31日

背景

◆廃プラスチック有効利用率の低さ、海洋プラスチック等による環境汚染が世界的課題
◆我が国は国内で適正処理・3Rを率先し、国際貢献も実施。一方、世界で2番目の1人当たりの容器包装廃棄量、アジア各国での輸入規制等の課題

重点戦略

基本原則：「3R＋Renewable」

リデュース等	▸ ワンウェイプラスチックの使用削減(レジ袋有料化義務化等の「価値づけ」) ▸ 石油由来プラスチック代替品開発・利用の促進
リサイクル	▸ プラスチック資源の分かりやすく効果的な分別回収・リサイクル ▸ 漁具等の廃棄回収徹底 ▸ 連携協働と全体最適化による費用最小化・資源有効利用率の最大化 ▸ アジア禁輸措置を受けた国内資源循環体制の構築 ▸ イノベーション促進型の公正・最適なリサイクルシステム
再生材 バイオプラ	▸ 利用ポテンシャル向上（技術革新・インフラ整備支援） ▸ 需要喚起策（政府率先調達（グリーン購入）、利用インセンティブ措置等） ▸ 循環利用のための化学物質含有情報の取扱い ▸ 可燃ごみ指定袋などへのバイオマスプラスチック使用 ▸ バイオプラ導入ロードマップ・静脈システム管理との一体導入
海洋プラスチック対策	プラスチックごみの流出による海洋汚染が生じないこと（海洋プラスチックゼロエミッション）を目指した ▸ ポイ捨て・不法投棄撲滅・適正処理 ▸ 海岸漂着物等の回収処理 ▸ 海洋ごみ実態把握(モニタリング手法の高度化) ▸ マイクロプラスチック流出抑制対策(2020年までにスクラブ製品のマイクロビーズ削減徹底等) ▸ 代替イノベーションの推進
国際展開	▸ 途上国における実効性のある対策支援（我が国のソフト・ハードインフラ、技術等をオーダーメイドパッケージ輸出で国際協力・ビジネス展開） ▸ 地球規模のモニタリング・研究ネットワークの構築（海洋プラスチック分布、生態影響等の研究、モニタリング手法の標準化等）
基盤整備	▸ 社会システム確立（ソフト・ハードのリサイクルインフラ整備・サプライチェーン構築） ▸ 技術開発（再生可能資源によるプラ代替、革新的リサイクル技術、消費者のライフスタイルのイノベーション） ▸ 調査研究（マイクロプラスチックの使用実態、影響、流出状況、流出抑制対策） ▸ 連携協働（各主体が一つの旗印の下取組を進める「プラスチック・スマート」の展開） ▸ 資源循環関連産業の振興 ▸ 情報基盤（ＥＳＧ投資、エシカル消費） ▸ 海外展開基盤

【マイルストーン】

<リデュース>

①**2030年**までにワンウェイプラスチックを累積**25%**排出抑制

<リユース・リサイクル>

②**2025年**までにリユース・リサイクル可能なデザインに

③**2030年**までに容器包装の**6割**をリユース・リサイクル

④**2035年**までに使用済プラスチックを**100%**リユース・リサイクル等により、有効利用

<再生利用・バイオマスプラスチック>

⑤**2030年**までに再生利用を**倍増**

⑥**2030年**までにバイオマスプラスチックを**約200万トン**導入

◆**アジア太平洋地域をはじめ世界全体の資源・環境問題の解決**のみならず、**経済成長**や**雇用創出** ⇒ **持続可能な発展**に貢献
◆**国民各界各層との連携協働**を通じて、マイルストーンの達成を目指すことで、**必要な投資やイノベーション（技術・消費者のライフスタイル）を促進**

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律案

プラスチックのライフサイクル全般での"3R+Renewable"により、サーキュラーエコノミーへの移行を加速

①設計・製造段階

プラ製品の設計を環境配慮型に転換

プラ製品の環境配慮設計に関する指針に即した環境配慮製品を国が初めて認定し、消費者が選択できる社会へ

- 製造事業者等向けのプラスチック使用製品設計指針（環境配慮設計指針）を策定するとともに、指針に適合したプラスチック使用製品の設計を認定します。
- 国等が認定製品を率先して調達することやリサイクル設備を支援することで、認定製品の利用を促します。

②販売・提供段階

使い捨てプラをリデュース

小売・サービス事業者などによる使い捨てプラの使用を合理化し、消費者のライフスタイル変革を加速

- コンビニ等でのスプーン、フォークなどの、消費者に商品やサービスとともに無償で提供されるプラスチック製品を削減するため、提供事業者に対し、ポイント還元や代替素材への転換の使用の合理化を求める措置を講じます。
- これにより、消費者のライフスタイル変革を促します。

③排出・回収・リサイクル段階

排出されるプラをあまねく回収・リサイクル

あらゆるプラの効率的な回収・リサイクルを３つの仕組みで促進

- 市町村が行うプラスチック資源の分別収集・リサイクルについて、容器包装プラスチックリサイクルの仕組みを活用するなど効率化します。
- 使用済プラスチックについて、製造事業者等の計画を国が認定することで廃棄物処理法上の許可を不要とする特例を設けます。
- 産業廃棄物等のプラスチックについて、排出抑制や分別・リサイクルの徹底等の取組を排出事業者に求める措置を講じるとともに、排出事業者等の計画を国が認定することで廃棄物処理法上の許可を不要とする特例を設けます。

環境省：https://www.env.go.jp/press/files/jp/115768.pdf

設計・製造

【環境配慮設計指針】

- 製造事業者等が努めるべき**環境配慮設計に関する指針**を策定し、指針に適合した製品であることを**認定**する仕組みを設ける。
  - 認定製品を**国が率先して調達**する（グリーン購入法上の配慮）とともに、リサイクル材の利用に当たっての**設備への支援**を行う。

<付け替えボトル>

販売・提供

【使用の合理化】

- ワンウェイプラスチックの提供事業者（小売・サービス事業者など）が取り組むべき**判断基準を策定**する。
  - 主務大臣の**指導・助言**、ワンウェイプラスチックを多く提供する事業者への**勧告・公表・命令**を措置する。

<ワンウェイプラスチックの例>

排出・回収・リサイクル

【市区町村の分別収集・再商品化】

- プラスチック資源の分別収集を促進するため、**容リ法ルートを活用した再商品化**を可能にする。

<プラスチック資源の例>

- 市区町村と再商品化事業者が**連携して行う再商品化計画**を作成する。
  - 主務大臣が認定した場合に、市区町村による**選別、梱包等を省略**して再商品化事業者が実施することが可能に。

【製造・販売事業者等による自主回収】

- 製造・販売事業者等が製品等を**自主回収・再資源化する計画**を作成する。
  - 主務大臣が認定した場合に、認定事業者は廃棄物処理法の**業許可が不要**に。

<店頭回収等を促進>

【排出事業者の排出抑制・再資源化】

- 排出事業者が排出抑制や再資源化等の取り組むべき**判断基準を策定**する。
  - 主務大臣の**指導・助言**、プラスチックを多く排出する事業者への**勧告・公表・命令**を措置する。
- 排出事業者等が**再資源化計画**を作成する。
  - 主務大臣が認定した場合に、認定事業者は廃棄物処理法の**業許可が不要**に。

◆：ライフサイクル全体でのプラスチックのフロー

<施行期日：公布の日から１年以内で政令で定める日>

資源循環の高度化に向けた環境整備・循環経済（サーキュラー・エコノミー）への移行

環境省 ： https://www.env.go.jp/press/files/jp/115768.pdf

プラスチック資源循環に係る開示・対話のポイント

- 国際的な関心の高まり、急速な国内外での政策の具体化の進展等により、プラスチックのサプライチェーンに属する企業を中心として事業環境の変化が生じており、企業と投資家・金融機関の**開示・対話を加速化**する必要。
- 開示・対話のポイントは基本的にCEと同様。**業種や素材分野で特徴が異なる「リスクと機会」「指標と目標」**について、企業はプラスチックの特徴を織り込んで価値創造ストーリーに位置づけ、投資家・金融機関は中長期的な視点から評価することが重要。

リスクの例

<政策と法>
- 中国等のプラスチック廃棄物の**輸入規制**

<技術>
- 他社のプラスチック代替素材の新技術開発による既存技術の**競争力低下**

<市場>
- 需要増大によるプラスチック代替素材の**供給不足**

<評判>
- 使い捨てプラスチック使用等による**ブランドイメージの毀損**

<物理的（直接的）影響>
- プラスチックごみの環境中への流出による**悪影響** 等

転換

機会の例

- 国内処理量の増加による**市場拡大**
- 自社の代替素材に係る技術開発による**競争力向上**
- 環境配慮製品・サービスの**市場拡大**
- 社会からの環境配慮要請へ応じることによる**レピュテーション向上**
- 環境への流出防止に資する製品・サービスの**市場創** 等

指標の例

- プラスチック使用量、リサイクル率
- 代替素材に係る技術開発、製品開発計画の策定
- 再生材及びバイオマス由来成分の割合
- プラスチック容器包装使用量
- 海洋プラスチックごみの削減量 等

※リスクと機会は、価値創造ストーリーに応じ、自社の事業活動に影響を及ぼすと考えられるものを整理

経産省：https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/ce_finance/20200119_report.html

京都市での挑戦（12重点施策）

(1) くらしと事業活動における２Ｒの推進及びリニューアブルへのチャレンジ

～そもそもごみになるものを減らし，植物等の再生可能な資源を使う～

- ①市民・事業者・行政の協働による２Ｒの促進
- ②全国をリードする「食品ロス削減のまち」の実現
- ③徹底した使い捨てプラスチックの削減
- ④観光（おもてなし）とごみ対策の調和
- ⑤再生可能資源等の利活用の促進による化石資源からの脱却

(2) 質の高い資源循環に向けた分別・リサイクルとエネルギー創出の推進

～もっと分別・リサイクルに取り組み，繰り返し資源として再生し，効率的にエネルギーを生み出す～

- ⑥市民・事業者・行政の協働による分別・リサイクルの促進
- ⑦食品廃棄物や木質ごみ等のバイオマスのリサイクルの促進
- ⑧徹底したプラスチックの資源循環
- ⑨イノベーションの促進

(3) 自然災害の発生や長寿社会の進展等にもしなやかに対応できる強靭な適正処理体制の構築

～災害に強い，長寿のまちの安心・安全なごみ処理体制を構築する～

- ⑩廃棄物処理体制の更なる強靭化に向けた適正処理の推進
- ⑪強靭な災害廃棄物処理体制の構築
- ⑫高齢者に対するごみ出し支援等の促進

京都市での挑戦（12重点施策）

重点施策③　徹底した使い捨てプラスチックの削減

③－１　レジ袋（プラスチック製買物袋）の更なる削減

有料化義務化の対象とならないレジ袋を含め，更なるレジ袋の削減に向け，小売事業者と連携した取組を実施します。

③－２　新型コロナウイルス感染症を契機とした新しい生活様式下での使い捨てプラスチックの削減

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に増加した宅配やテイクアウト等について，リユース食器やプラスチック代替素材の食器や容器包装の導入を支援し，使い捨てプラスチックを削減します。

③－３　使い捨てプラスチック削減に取り組む事業者の推奨

マイボトル推奨店舗など，使い捨てプラスチックの削減に取り組む事業者を推奨し，事業者の取組を支援します。

③－４　マイボトル利用促進に向けた給水スポットの整備・情報発信

ペットボトルをはじめとした使い捨てプラスチック容器を削減するため，民間とも連携しながら，まちなかや地域イベント時への給水機の設置を進め，それらの位置情報等を積極的に発信し，マイボトルの利用促進を図ります。

③－５　マイクロプラスチックを含む河川ごみ等の実態把握

大学や他の自治体等とも連携し，マイクロプラスチックを含めた河川ごみやまちなか・観光地の散乱ごみ等の発生源の実態把握を行うとともに，その成果を新たな対策へとつなげていきます。

京都市での挑戦（12重点施策）

重点施策⑤　再生可能資源等の利活用の促進による化石資源からの脱却

⑤－1　再生可能資源に係る市民理解の促進に向けた事業者と連携した周知啓発

「リニューアブル」（p14 3.1参照）という考え方について，事業者とも連携し，リニューアブルの具体的な取組内容，取り組む意義，取り組んでいる事業者や商品の見分け方等を市民にわかりやすく周知啓発し，市民が再生可能資源を活用している事業者や商品等を優先的に選択することを促します。

⑤－2　植物由来のバイオプラスチックや紙素材など再生可能資源を原料とした素材の普及支援

石油由来のプラスチックから植物由来のバイオプラスチックや紙素材などの再生可能資源を原料とした素材への転換を図るため，事業者の導入費用の助成や指定ごみ袋への利用などを通じ，事業者の取組を支援します。

⑤－3　再生資源（リサイクルされた資源）の活用促進

市民や事業者が，再生資源（リサイクルされた資源）を活用した製品等を優先的に選択して使用いただけるよう，リサイクル業者や製造業者とも連携し，再生資源の活用を促進します。

京都市での挑戦（12重点施策）

重点施策⑧　徹底したプラスチックの資源循環

⑧－1　ペットボトルのより質の高い回収・リサイクル方策の検討

国内におけるペットボトルからペットボトルへの完全循環型のリサイクルの促進に向け，小売業者や収集運搬業者，リサイクル業者等の民間とも連携し，ペットボトルを高品質かつ効率的に回収できる体制のあり方を検討します。

⑧－2　製造・販売事業者とも連携したプラスチック製品の回収

現在，ほとんどが焼却されているプラスチック製品（容器包装以外のプラスチック）について，プラスチック製容器包装との一括回収に向けた国の議論を注視しつつ，行政と製造・販売事業者と排出者が適切なバランスで責任を負う制度の設計を国に求めていきます。また，製造・販売事業者とも連携し，その他の回収方法を含めて，市民にとって身近でわかりやすい回収方法のあり方を検討します。

⑧－3　プラスチック製容器包装の分別の促進

プラスチック製容器包装の分別の促進に向け，分別対象となるプラスチックごみの種類や汚れの度合いなど，市民の皆様にとってわかりやすい丁寧な周知啓発を徹底します。

⑧－4　事業者による店頭回収等の自主回収の推奨

ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」に基づき，引き続き，小売店における店頭回収の実施を促します。

拡大生産者責任の考え方をより追求し，飲食店等についても，テイクアウト食品のプラスチック製容器包装を店頭や店周辺で自主的に回収していただくよう促します。

京都市
数値目標
（2030年）

分類	目標指標			平成12（2000）年度	令和元（2019）年度	令和12（2030）年度目標	主な関連重点施策
ごみ量	[1]	市受入量		82万トン	40.9万トン	37万トン	①～④
		市民1人1日当たり		1,530グラム	762グラム	700グラム	
		内訳	家庭	35万トン	21.2万トン	19.5万トン	
			市民1人1日当たり	640グラム	396グラム	370グラム	
			事業	47万トン	19.7万トン	17.5万トン	
			市民1人1日当たり	890グラム	366グラム	330グラム	
	[2]	ごみ焼却量		76万トン	38.2万トン	33万トン	①～④ ⑥～⑩
		市民1人1日当たり		1,420グラム	711グラム	625グラム	
		内訳	家庭	33万トン	19.0万トン	16.3万トン	
			市民1人1日当たり	615グラム	354グラム	310グラム	
			事業	43万トン	19.2万トン	16.7万トン	
			市民1人1日当たり	805グラム	357グラム	315グラム	
2R	[3]	レジ袋使用量（家庭）		5,200トン	2,500トン	400トン	③
		市民1人当たり		340枚	220枚	35枚	
	[4]	ペットボトル排出量（家庭）		3,600トン	3,400トン	1,600トン	③⑤
		市民1人当たり		90本	90本	45本	
	[5]	使い捨てプラスチック排出量		6.0万トン	5.1万トン	—*	③⑤
	[6]	食品ロス排出量		9.6万トン	6.1万トン	4.6万トン	②
		市民1人1日当たり		179グラム	114グラム	87グラム	
		内訳	家庭	4.0万トン	2.5万トン	2.0万トン	
			市民1人1日当たり	75グラム	47グラム	38グラム	
			事業	5.6万トン	3.6万トン	2.6万トン	
			市民1人1日当たり	104グラム	67グラム	49グラム	
リニューアブル	[7]	バイオプラスチック製容器包装排出割合		—	—	—*	⑤⑨
分別・リサイクル エネルギー創出 適正処理	[8]	プラスチックごみ分別実施率（家庭）		—	46%	60%	⑧
	[9]	食品廃棄物リサイクル率（事業）		—	19%	36%	⑦
	[10]	再生利用率		—	31%	39%	⑥～⑨
	[11]	市最終処分量		16.5万トン	5.1万トン	4.4万トン	①～⑪
脱炭素	[12]	廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量		28万トン	16.1万トン（2013年度）	11.3万トン	③⑤ ⑧⑨

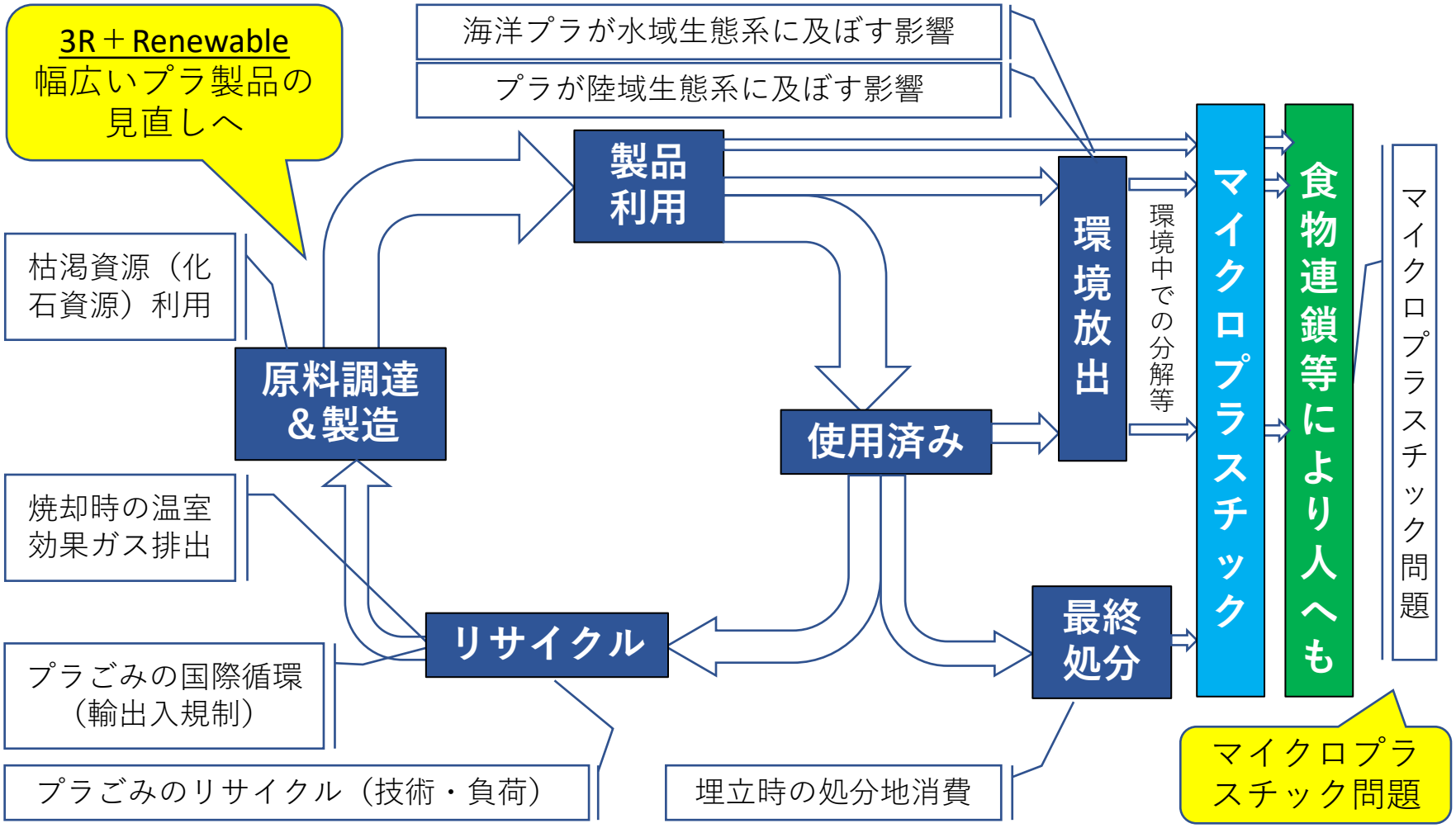
※ 短時点で数値目標は設定せず、計画の中間見直し時に改めて検討します。

ごみ量（1人1日）
家庭：370g　事業：330g
合計：700g

◆レジ袋使用量
1人年間　35枚
◆ペットボトル排出量（家庭）
1人年間　45本

プラごみ分別実施率（家庭）60%

プラスチック問題の論点



エコ～るど京大

・2013年6月にサステナブルウィークとしてスタート　https://eco.kyoto-u.ac.jp/

京都超SDGsコンソーシアム

・2019年6月に産学公連携プロジェクトとして開始
・コンセプト
1,300年の歴史を持つ京都。
SDGs目標年である
2030年を**超**えて、
また、17の目標を**超**えて、
持続可能な社会の在り方を
追及したい。
その想いを込めて、
超SDGsと謳っています。

考え

行動し

発信

SDGs KYOTO TIMES

エコ～ると京大

京都大学 KYOTO UNIVERSITY　京都市 CITY OF KYOTO　RICOH imagine. change.　YASUDA SANGYO GROUP　ひとのときを、想う。JT　SoftBank　ecommit　セブン&アイHLDGS.　三洋化成 Sanyo Chemical　エフピコ　Daiwa Lease　Takara Leben

プラスチックについて
～京大プラ・イド宣言～

2019年春　学内プラ対策の検討開始
（脱レジ袋、ストロー、PETボトル??）

↓

プラスチックのこと、もっと知りたい！

↓

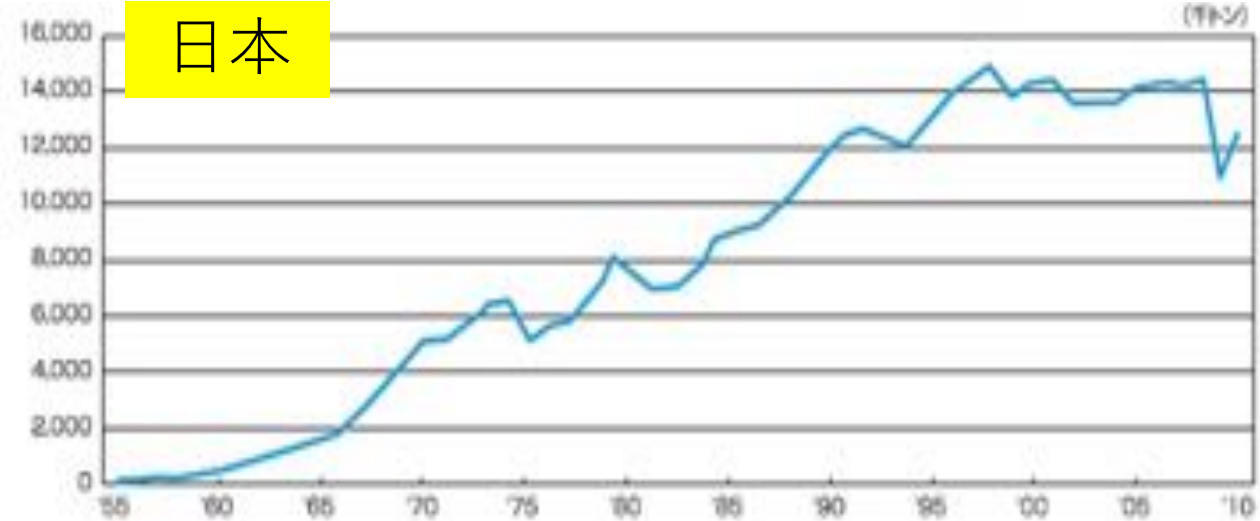
2019年6月　京大プラ・イド宣言
　〇考え行動する宣言
　〇「かばんの中プラ」キャンペーン
　〇京都大学プラ・イドチャートの提案
　〇プラ・イド革命（できることからアクション）

素材としての利用が始まってから1世紀足らず。

その軽量・高可塑性・安価といった
優れた性質を活かし、
いまや私たちの暮らしすべてを形作っている
といっても過言ではない
プラスチック。

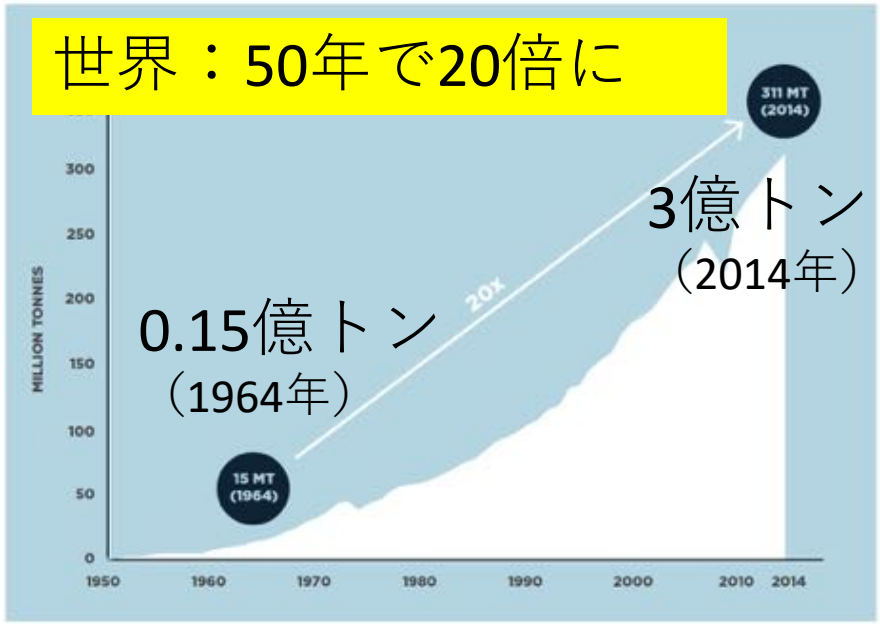
京都大学プラ・イド宣言より

プラスチック生産量の経年変化



1,400万トン
（0.14億トン）

日本プラスチック工業連盟
http://www.jpif.gr.jp/2hello/conts/toukei_c.htm



World Economic Forum, Ellen MacArthur Foundation and McKinsey & Company, The New Plastics Economy — Rethinking the future of plastics (2016)

プラスチックの種類と使途例

プラスチックの名前	略号	使われているもの	性質
ポリカーボネート	PC	CD、携帯電話など	透明で、熱に強い
アクリル樹脂	PMMA	メガネやコンタクトレンズなど	透明で、強い
ポリアミド	PA	ファスナー、レトルト食品袋など	丈夫、酸素を通さない
ポリプロピレン	PP	台所用品、クルマの部品	熱に強く、艶がある
低密度ポリエチレン	LDPE	ポリ袋、食器容器など	軽く、薬品に強い
高密度ポリエチレン	HDPE	バケツ、パイプ、網など	衝撃に強い
ポリスチレン	PS	コンピュータ、テレビの外側など	透明で、堅い
AS樹脂	SAN	調味料容器、使い捨てライターなど	透明で、傷つきにくい
ABS樹脂	ABS	家具、パソコンなど	不透明、熱に強い
塩ビ	PVC	手袋、コード、フィルムなど	燃えにくく、丈夫
ポリエチレンテレフタレート	PET	ペットボトル、卵のパックなど	透明で強い

京都大学プラ・イド宣言

～減らしながら考え、考えて減らす。～

プラスチック問題の本質は何なのか？
レジ袋やストローだけが問題なのか？
なぜみんなの意識・行動が揃わないのか？
プラスチックを減らす動きの源流となるよう
徹底的に考え、議論し、行動してゆくことを
京大生が、いま、ここで、宣言します。

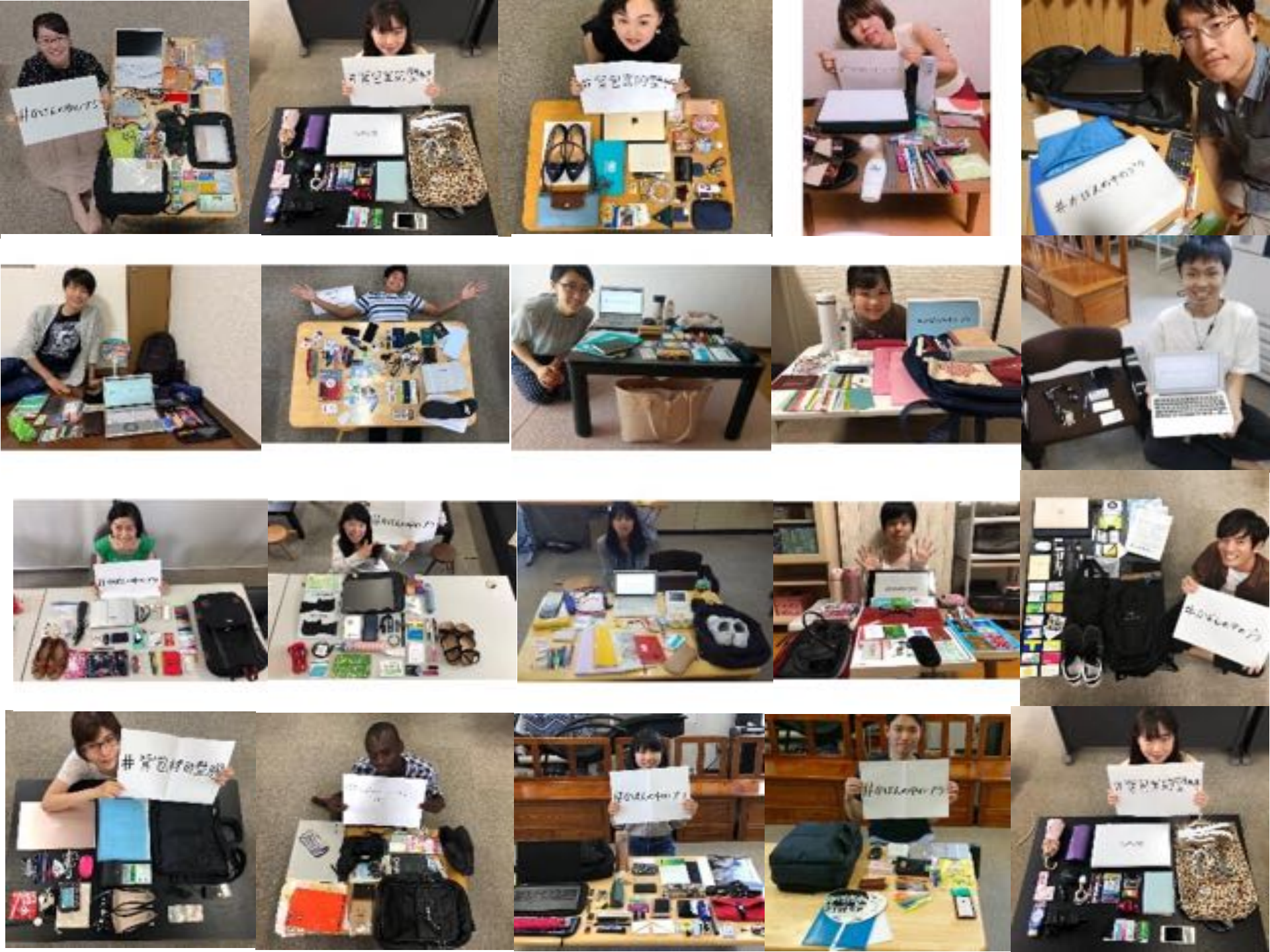
プラスチックとの持続可能な付き合い方を考える。
そのために…

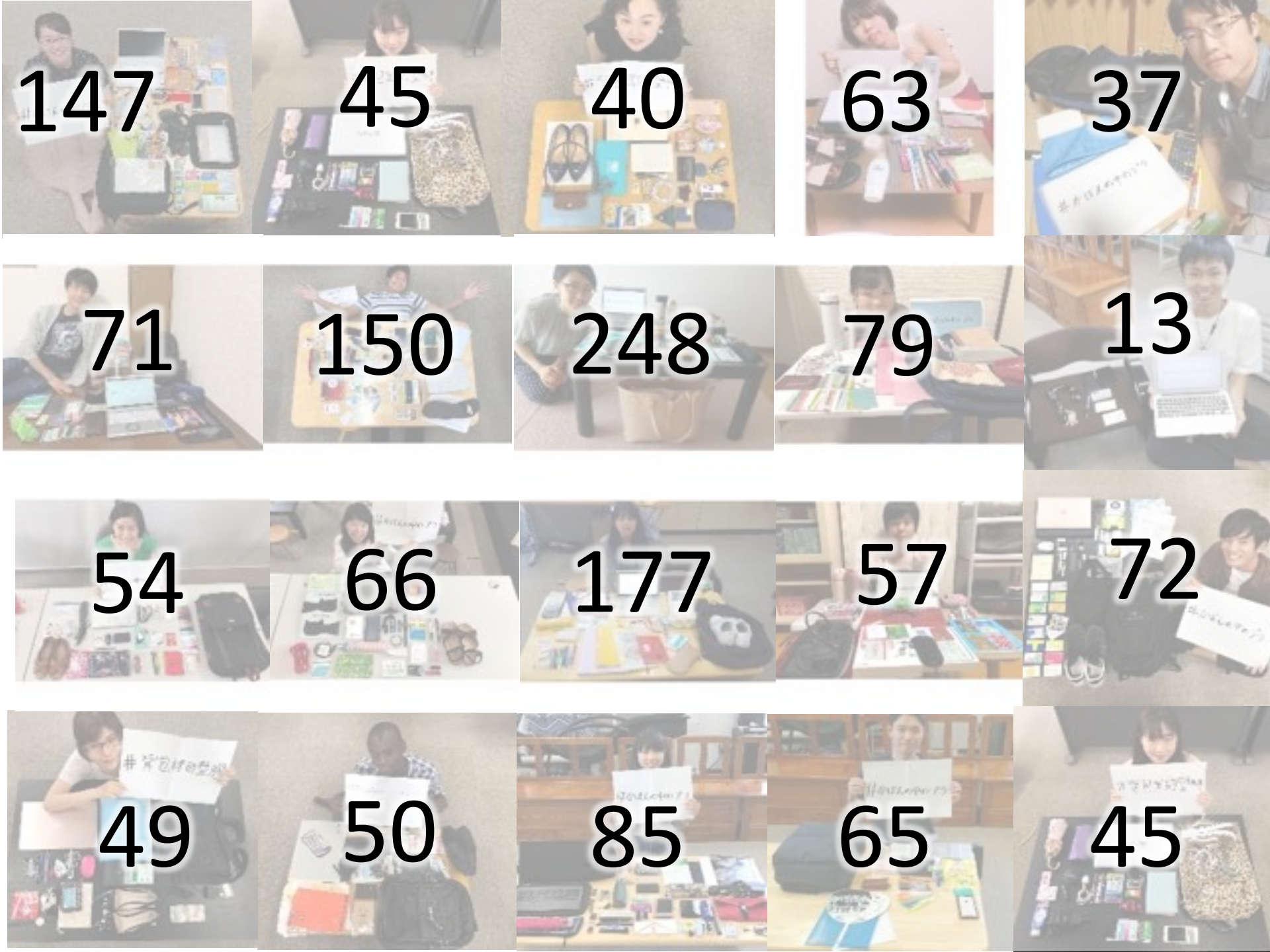
〇プラスチックの複雑性と多面性をできるだけ多くの人に認識してもらいます。

⇒かばんの中のプラ、プラ・イドチャート

〇京都大学で、学生と教職員で動き始めます。*⇒革命*

#かばんの中のプラ




147
45
40
63
37
71
150
248
79
13
54
66
177
57
72
49
50
85
65
45

20人のかばんの中に

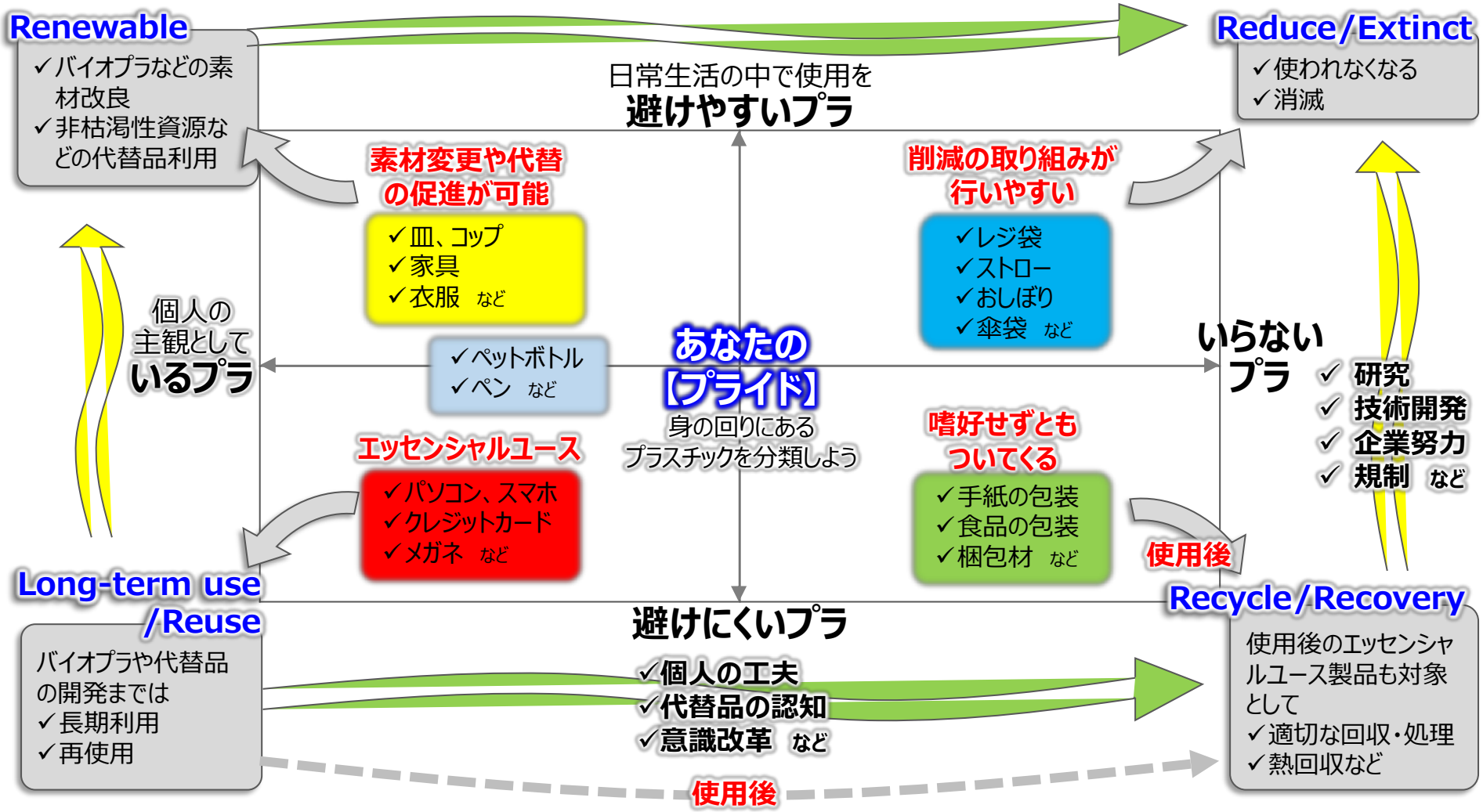
総計1652個

平均82.6個

のプラスチック製品がありました。

京大式プラチャート「プラ・イド（Plide）」

Ver.1　個人の主観・認識レベルを可視化する



環境と安全/12巻（2021）1号
https://doi.org/10.11162/daikankyo.20G0901

原　著

プラスチック製品に対する消費者意識・行動の可視化ツール
—プラ・イド チャートの提案と意義について

浅利美鈴[1*]、西本早希[2]、安藤悠太[3]、
奥野真木保[2]、矢野順也[4]、酒井伸一[4]

京都大学・FRaU　共創企画
みんなのプラ・イド革命　超SDGsリーダー500人の大編集会議
【第一回（2020年7~8月）】

「かばんの中から世界を変える、はじめかた。今日、京からできる10のこと」

みんなのプラ・イド革命 SDGs

★★共に世界を変える編集メンバー（超SDGsリーダー）や参加団体　大募集！

●明日、世界で常識となる行動様式を★★生み出すための、全く新しい編集会議

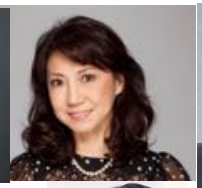
女性誌の常識を覆しSDGsに全面的に取り組む講談社「FRaU」。その人気コーナー『今日からできる100のこと。』を、オリジナル展開。パートナーは、SDGs大学ランキングで日本No.1となった京都大学。国内外にて高く評価される「京都大学プラ・イドチャート」や「かばんの中のプラ」SNSキャンペーンを、学生主体の「エコ～るど京大」にて生み出し、「京都大学プラ・イド革命」として展開中。

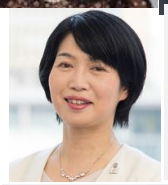
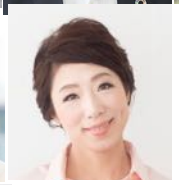
「プラスチックとの持続可能な付き合い方」をテーマに、オンラインだからできるディスカッションやチャレンジで、世界の人が行動変容を起こすような提言を導き出します。事前学習から、1回目のイベント（7/4）でのディスカッションを経て、考察と体験の時間を取ります。その後、2回目のイベント（8/1）でのディスカッションで「10のこと」に絞る予定です。その後も、持続的な取り組みを目指します。

●FRaU編集長をはじめ行政・企業・団体より編集リーダーが積極的に参画

編集リーダー（順不同）は次の通り。7/4のキックオフ会合では、Zoomブレイクアウトにより、直接お話し頂けます。

○石川淳哉（social good producer）
○酒井伸一（京都大学教授）
○関龍彦（講談社「FRaU」編集長）
○井植美奈子（セイラーズフォーザシー日本支局理事長）
○岩井正人（日本マクドナルドCSR部マネージャー）
○太田康子（リコージャパン）CSR女子コミュニティ「CSR48」総監督。
○小谷美樹（積水ハウス）活躍する女性をたたえる「大阪サクヤヒメ」のSDGs研究会の代表。
○杉本節子（京町家「杉本家」）
○釣流まゆみ（セブン＆アイ・ホールディングス執行役員）
○土居健太郎（環境省）プラ対策担当。小池大臣時代にはクールビズ普及の一翼を。
○矢野阿壽加（洛和会ヘルスケアシステム専務理事・医師）



●主催：京都超SDGsコンソーシアム（京都大学・京都市・リコー・日本たばこ産業・安田産業・ソフトバンク・ecommitほか）、講談社FRaU、エコ～るど京大　ほか
●協力：大阪サクヤヒメSDGs研究会ジェンダー部会、CSR48、2019ミスアースジャパン京都　ほか

京都大学・FRaU　共創企画
みんなのプラ・イド革命　超SDGsリーダー500人の大編集会議
【第一回（2020年7~8月）】

「かばんの中から世界を変える、はじめかた。」

①京都小物で世界を変える
②SDGsで、明日を見上げる京土産
③京都らしいお土産包みはどこにある？
④『New Normal = オンラインカード』
⑤財布の素材について 100年後の財布プロジェクト
⑥ポイントカードからの解放を
⑦いつものバッグにマイバッグ
⑧めなたのパーティー、マイバッグにマッチング
⑨Less Plastic, More Tasty.お弁当をエコにおいしく楽しもう！！
⑩マイボトルへそくりチャレンジで心を豊かに
⑪マイボトルでダイエット！！
⑫＃lady_action＞ 女性だから世界を変えることができる。
⑬かばんの中から、私を美しく、地球も美しく
⑭女性の心をくすぐる脱プラ製品
⑮「attraction→attachment→action」
⑰MYびんMYフルーツMYサブスク プロジェクト
⑱ 素材を理解して、分別・回収し、循環させよう
⑲だから、バイオマスプラ
㉑プラ削減！風呂敷から風呂敷を広げよう
㉓自らを罰し、世界を律する
㉔Plastic-minimalistな日本人になろう！
㉕ 財布の中のプラから広げよう

Everyone's
みんなのプラ・イド革命
PLastic IDEntification Revolution SDGs

プラスチックとの持続可能な関係とは？
まずは踊って考えよう！

皆で踊ろう！

マイボトルダンス

動画を送ってくださった方には
京大オリジナルエコグッズプレゼント！

参加者＆団体
絶賛募集中！
これまでに
50以上の
団体が披露。
見て歌って踊って
元気はつらつ！

SDGs KYOTO TIMES

第4回京都超SDGsシンポジウム&博覧会「暮らしと持続可能性」

今日も明日もSDGs！第2弾

2021年2月1日～2月20日

平日/土曜　朝 6：45 ～ 7：15（Zoom）夜 22：45（YouTubeアップ）

日曜/祝日　朝 9：00 ～ 9：30（Zoom）

プラスチックとSDGsについて考えを深めよう！

踊ろう！ マイボトルダンス

一緒に楽しく踊って眠気を吹き飛ばそう！

考えよう！ 1日1SDGs × プラスチック

SDGsとプラスチックの関わりを知り、よりよい未来のために何が出来るのかを議論します！

毎日チャレンジ！ 今日のSDGsクイズ

全問正解者には豪華景品が！！

学ぼう！ みんなのプラ・イド革命

企業のプラに関する取り組みをご紹介！プラとの付き合い方を共に考えます。

高校生と一緒に紐解くSDGｓ

京都大学 ELCAS

高校生による持続可能な暮らし方についての発表を聴こう!

日替わり！ ミニコーナー

- たかべっちの木ってすごいぜ！
- 探してみよう！身近な野鳥
- 世界の国からSDGｓ
- 万博、みんなで挑む共創への道が日替わりで登場！

発言しよう！ 日祝開催！ お便りコーナー

これまでの内容を振り返り、視聴者さんと共に議論します！

参加申込

コチラから↓

主催：エコ～るど京大（https://eco.kyoto-u.ac.jp/），京都超SDGsコンソーシアム

SDGs KYOTO TIMES｜🔍

エコ～るど京大｜🔍

ご清聴ありがとうございました！